

2018 年 9 月
1147 号

万葉

Manyoh

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町 5
(一冊の会研究室)



Our Heritage – Peace “私たちの遺産、それは平和”

Our Challenge – Sustainable Development “私たちの目標、それは持続可

能な開発”

女性が輝く真の国際平和の歴史を築こう —2018 FAWA フィリピン総会に参画

—大槻会長 FAWA インターナショナル会長に就任—

アジア太平洋の女性の相互理解と連携を深め、女性のエンパワーメントを高めることを目的とする FAWA(Federation of Asia Pacific Women's Association=アジア太平洋女性連盟)は今年 60 周年を迎えました。1950 年に一冊の会永久最高顧問相馬雪香先生とフィリピンのペクソン女史が語り合ったのが FAWA の始まりです。1959 年日本参加の許可が中々おりず、残念ながら日本が参加していない 1959 年を創設日としています。今年第 23 回目の総会は、ペクソン女史の故郷、フィリピンで 9 月 26 日から 30 日まで開催されました。

今回のマニラ総会には、一冊の会では若手、男性、先輩総勢 17 名が日本代表として参画。日本、アメリカ、グアム、フィリピン、シンガポール、韓国、台湾、香港、インドネシア、マレーシア、マーシャルアイランド等の国、地域から代表団が参画、4 日間他の国・地域の FAWA メンバーと共に冒頭紹介したテーマに挙がっている「持続可能な女性そして国・地域の未来の発展の為に今私たちに何が出来なのか？」ということを大いに語り合いました。FAWA 総会への日本代表として一冊の会が参画するのは今回で 6 回目（日本、台湾、グアム、韓国、シンガポール、フィリピン）となりました。



26 日はウェルカムパーティー。FAWA フィリピンのメンバーが盛大に迎え入れて下さいました。「Hi, Japan! Issatsu no Kai!」と多くの他の国地域のメンバーが笑顔で声を掛けてくれ、再会のハグをしあい、2 年ぶりの再会を大いに楽しみました。



27日は朝から開会式です。セレモニー幕開けは、各国代表入場。国旗と共に各国代表が入場をし、FAWAの旗・フィリピン国旗、グアムの旗に続き日の丸が会場に現れました。ガールズスカウトの少女が胸を張って掲げて入場した大きな日本国旗の横には日本代表且つ FAWA の副会長を務めている大槻会長が美しい華やかな金色の刺繍を施した着物を召されて、凛とした姿勢で入場されました。他の団体も皆艶やかな民族衣装に身を包み、入場後ステージに並んだ姿はとても美しく、会場に大きな花が咲き圧巻そのものでした。

←日本代表大槻会長の入場

FAWA フィリピン総会のオルテガ会長からは「この2年間の FAWA フィリピン準備の期間中に旦那様が病に倒れ何度も大きな手術をし、精神的に大変な時期と FAWA の準備の時期が重なってしまったが他のフィリピンのメンバーだけでなく、他国のメンバーからも励ましやサポートを頂き、今日を迎えることが出来て大変感謝している」とスピーチがありました。FAWA メンバーの大きな絆に皆で大いに感動し、大きな拍手が沸き上がりました。

大変嬉しいことに会場には快復されたオルテガ会長の旦那様も出席していらっしゃいました。



オルテガ FAWA 会長

開会式の目玉は何といってもフィリピン共和国の Leni G. Robredo(レニー・ロブレイド)副大統領による基調講演です。レニー副大統領は弁護士でもあり、子育てをしながら司法試験の勉強をし、弁護士になってからは貧困層の人々の法律相談をしていらっしゃいます。特に女性の貧困問題に真摯に向き合い、彼女たちを支援しています。2つの例を挙げ、一つはフィリピンの NAGA という貧困に苦しむ村の若い女性達が自立出来る様に職業訓練施設/学校を設立し、裁縫といった技術を取得してもらい、自ら独立して生計が立てるように支援していということ。もう一つは盲目の女性にミシン等を供給して、その女性が製品を作り、自ら販売することで自立し家族を養っていける環境を与えたということです。



レニー・ロブレイド副首相の講演



今回の FAWA のテーマにもあり、また国連の 2030 アジェンダーにもあるように『持続可能な開発』を実現する為に、女性に技術を教え、技術を持った女性が自ら製作、販売を行うことで起業家として自らの手で生計を立て、最終的に社会の一員としての役目を担っていくという、真の教育の在り方に深く感銘すると共に、今後世界の貧困層支援に対してのお手本としていくべき姿であると感じました。

基調講演の後は FAWA 創設メンバーであるアメリカの上院議員でありグアムの元副知事でもある Madeleine Z. Bordallo 氏からのビデオメッセージの披露です。毎回必ず御出席でしたが、残念ながら今年は他の重要な会議と重なり FAWA に参加出来なかったとのことです。Bordallo 女史からの「女性のエンパワーメントを高める為に FAWA メンバーが連帯して今後も主体的に活動して参りましょう！」という力強いメッセージに一同胸を熱くしました。

開会式には、日本留学中のオルテガ会長のお孫さんのジカさんも駆け付けておりました。6 月の一冊の会櫻華塾でジカさんには FAWA フィリピンを紹介して頂きましたが、その時は大槻会長のお孫さんの由美さんは出張中でお会いすることが出来ず、代わりに弟の健一さんと交流しました。今回ジカさんと由美さんは、感激的な出会いを果たしました。



オルテガ FAWA 会長の
お孫さんのジカさんと一緒に

午後は今回のワークショップのテーマに基づいて、各分野の専門家や機関の代表者によって本会議が開催されました。今年はワークショップ 5 では「Women on Population and Aging(人口、高齢化における女性)」を議題としており、国連人口基金(UNFPA)の佐藤摩利子東京事務所所長がゲストスピーカーとして招待されました。佐藤所長は世界の高齢化社会の実態をまず紹介し、女性は男性と比べると平均寿命が長いことから、女性として高齢社会を生きる為に必要なこと、孤独死の問題等を取り上げました。高齢社会は日本だけでなく世界で起きており、2050 年には世界が超高齢社会となります。世界的なこの逃れることの出来ない大きな課題に私たちは女性として真摯に向き合う必要があるのだと再認識しました。



UNFPA の佐藤摩利子東京事務所所長の講演

3 日目は総会の最大のイベント、各テーマに分かれての分科会（ワークショップ）です。今年のテーマは 5 つで

す。メンバーは事前に各テーマを勉強し、自分の意見を考え、英文に纏め、積極的に分科会に参加しました。

1. Women as an Entrepreneur (起業家、実業家としての女性)
2. Women and Education, Gender Equality and Empowerment(女性と教育、ジェンダー平等とエンパワーメント)
3. Women in Leadership and Networking for Service and Peace (平和の為のパートナーシップとネットワークにおける女性)
4. Women on Environment, Culture and Heritage (環境、文化、将来の遺産における女性)
5. Women on Population and Aging (人口、高齢化における女性)



第1の分科会では2年前のFAWAシンガポール総会に続き若手メンバーの城杉が、また第5の分科会では三坂一冊の会FAWA事務局長が副議長を務めました。第1の分科会では、2年前のFAWAシンガポール総会の分科会にて、同じ国・地域メンバーで固まって座っていた為、他国グループとの意見交換が難しく、その反省を生かして事前に議長と相談、



上：三坂一冊の会 FAWA 事務局長 & 第5分科会副議長

左：第1分科会の城杉副議長

様々な国・地域で構成されたグループに分け FAWA メンバ

ーがお互い意見を交換出来るような場を作りました。またグループ分けしたことにより一人ひとりが発言をし、女性の起業家としての問題、課題、取り組み等を積極的に話し合いが出来ました。

NPO 法人一冊の会 53 年間の実績には多くの国が興味・関心を持ち沢山の質問を頂きました。

何を質問されても即答出来る大槻会長・小山副会長・大先輩方には各国が讃嘆の声を下さいました。

私たち若手グループも一層研鑽を積むことを誓い合いました。韓国・台湾のメンバーが通訳として大活躍して下さいました。—感謝—

参加している国、地域の代表が前回の2年前のFAWAから今日までの自国での活動内容を発表するカントリーレポート。今年は小山副会長と大槻由美さんが日本代表として舞台に。小山さんの日本語での挨拶の後、由美さんが見事に英訳、その後は由美さんが英語で素



晴らしいプレゼンをされました。特に一冊の会での『持続可能な東北被災地

支援活動』では、国連のSDGsを念頭に7年半続けており、支援の形はハードからソフトへ変わり、3R・自己、他者、環境への尊厳の実践として女性の自立をサポート、子どもたちへの文具・図書支援等被災者に寄り添い支援物質を贈る活動しており、その持続活動に会場の参加者より拍手喝采を頂きました。図・写真を多く使用したパワーポイントのスクリーンも三坂一冊の会 FAWA 事務局長と大槻由美さ



カントリーレポートを発表する小山副会長と大槻由美さん

んが作成されました。

終始視覚・聴覚に訴え 最後まで素晴らしい英語で一冊の会の想いと共に発表された大槻由美さん、新しい世代の大活躍に一同大感激です。

市内ツアーでは国立博物館と民芸ショップに連れて行って頂きました。国立博物館ではフィリピン古来の機織り機も展示されていました。今回の FAWA ではフィリピンが伝統工芸で多くのおもてなしの品を参加者に下さいました。特に参加者各々の名前を刺繍したタオルは大変嬉しいプレゼントです。



上：国立博物館での記念撮影



上：参加者一人ひとりに各々の名前を刺繍したタオルと手作りの FAWA Bag 等、沢山のプレゼントを頂きました

最終日のガラパーティーでは重大発表が！FAWA の次回開催が『日本』に決定。相馬雪香先生が 1950 年、69 年前に提案して発足した FAWA。相馬先生が指揮をとられて日本で開催してから 10 年目。相馬先生を継いだ大槻会長の元へ引き継がれたのです。日本開催が決定されるまでに、大槻会長、小山副会長、石田理事長そして三坂一冊の会 FAWA 事務局長の種々の努力があってこそこの 2021 年 FAWA 日本総会が決定したのです。世界の歴史に残る、そしてこれからの歴史を



FAWA フラッグが 10 年ぶりに日本の手に



大槻 FAWA インターナショナル会長就任挨拶

創る FAWA。新たなステップが力強く、新鮮な息吹に燃え、日本大会へと向けて大きく踏み出されました。

日本を紹介するムービーは、初参加の大阪女学 G の米山さん指導の下、ガラパーティーの為に制作されたものです。ムービーは雅叙園で撮影され、華やかな大名行列柄の着物の大槻会長と日本女性を彷彿と思わせる上品な衣装をお召しになった小山副会長が登場し、日本文化を紹介していきます。最後には

2021 年日本でお会いしましょう！との文字がスクリーンに映し出されると会場より JAPAN!!と歓声が沸き上がりました。石田理事長、大槻 FAWA インターナショナル会長、三坂 FAWA 新理事、小山副会長そして一冊の会のメンバーで 2021 年、全世界から集まる FAWA ファミリーにおもてなしを致しましょう！

ガラパーティーの最後は各国のパフォーマンス披露です。日本は今年から FAWA に正式加盟した IEO（国際交流協会）を中心にパフォーマンスを考え、皆で青と赤のハッピーに鳴子を両手に“よさこい”を元気よく踊りました。日本の“よさこい”のパフォーマンスに会場皆大いに盛り上がりました。



左：よさこいはハッピーを着てパフォーマンス
上：閉会式は国連 T シャツ(Unifem Sakura)で参加

最後には 2 年間 FAWA 総会の大成功に向けて準備して下さったフィリピンのオルテガ会長へ、一冊の会研究員の平間さんが書をしたためた軸装を贈呈。本作品は海部元首相賞を頂いた大変貴重な書です。2 メートル程ある軸装の作品の素晴らしさに、会場いっぱいの大きな拍手を頂きました。



平間さんの書に会場から拍手が沸き上がりました

またフィリピンには残念ながら参加できなかったメンバーからも沢山の支援をして頂きました。石田理事長をはじめ多くの留守番をされた先輩方からの FAWA の盛会へのご支援とご協力を賜りましたこと、この場を借りて心より御礼申し上げます。横山さんに手作りのポケットティッシュケースを 100 個以上作成して頂きました。日本の和柄の華やかな手作りケースには中にティッシュだけでなく、専用の入れ物にいったエチケット袋も入っています。総会中にはお菓子等が沢山配られ、そのゴミ袋としても役に立



つ、まさに日本の『おもてなし』の精神がこの手のひらサイズのプレゼントに込められているのです。先輩方の発想に感銘を受けると同時に3年後開催される日本大会では今度は若手メンバーも共に皆で心一つに『おもてなし』の精神で皆を迎え入りたいです。なおこのティッシュケースには、**”JAPAN 核兵器の無い社会を共に築こう！日本でまた会いましょう！”**のメッセージを英文で作成して一緒に配りました。相馬雪香先生が願った国際平和を築く為にも一冊の会は強く”核兵器 No!”と提唱し続けます。

今回の総会を通じて、どの分科会にも通ずることは、女性に対する教育の大切さだと感じました。

印象的な言葉に”Education to Women is Education to nation”があります。女性が自らの特質を最大限に生かした



た社会を作る為には教育が大事であり、将来自らの子どもや次世代の子どもへ様々な教育を与えるのが女性の一つの大切な使命です。そしてその子ども達は女性も男性も同じように輝く社会を築いていく、まさに女性に対する教育は社会そして国家に対する教育なのです。学びの場が私たちを大いに成長させ、社会に大きな影響を与えるのです。

FAWA の総会ではアジア太平洋の女性団体が各国を代表して参加されています。自らの考えを文化・国を超えて互いに共有し、そこから学ぶことが沢山ありました。つまり私達は FAWA を通じて「教育」を受けたのです。



FAWA だけではなく、一冊の会の櫻華塾でも 歴史や先輩方の経験から多くのことを日々学んでおります。

一冊の会の活動を通じてメンバー一同共に学び連携をして活動をしていく。そして新しい歴史を、共にグローバル平和な社会を築いていきましょう！



若手も活躍した FAWA
フィリピン総会

2021 年の FAWA 総会は日本、東京です。ホストは私たち一人ひとりです。

日本の顔として自信をもって世界各国のメンバーをお迎え出来る様に、2018 年 FAWA で学んだことを活かし、一人ひとりが主体的に 2021 年に向けて、女性も男性も輝く平和な社会の創設に向けて自分に出来ることを今日から始めることが大事です。

FAWA の綱領は有識者各国 2 団体であったそうです。十年前大槻会長が相馬雪香先生より引き継ぐ条件として 4 点あげられました。

- 1) 有識者とはどこで線引きをするのか、一般庶民でも社会人として責任ある発言、実行力のある人を選ぶべきではないか。
- 2) 男性の理解者作り
- 3) 若手の育成
- 4) 経験豊かな先輩の意見を登用する。此のことの大切さを主張されました。

相馬雪香先生は、「大槻さん、貴方が FAWA を変えなさい、私は応援するよ」とおっしゃったそうです。

現在 FAWA 日本は上記 4 条件を共に達成しています。それには 10 年という月日がかかりました。

その真価を必ず実証として 2021 年に世界にご披露するチャンスを使役と考え私たちは努力して参ります。

さあ、心一つに 2021 年 FAWA 日本総会、大成功を収めましょう！



第 23 回 FAWA フィリピン総会は大成功を収めました

文責：一冊の会研究員 城杉清佳